

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発 行

13年12月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 125名 181名 23名 329名	13年12月 (350号) 発行者 千葉 岳 関 編集者 白井 岳 麗
--	------------------------------------	---

行事予定

- 平成14年度碩心会初吟会
 日時・1月14日 成人の日 10時
 会場・鎌倉市「わかみや」
- 県本部初理事会・初吟会
 日時・1月27日(日)
 会場・横浜ジャスト
- 県本部準師範講習(午前) 正師範審査(午後)
 日時・2月9日(土)
 会場・平塚市民センター
- 青少年育成の日
 日時・3月24日(日)
- 碩心会春季審査会
 日時・3月24日(日) 午前10時より
 会場・逗子市図書館ホール
- 14年度神奈川県本部高段者審査会
 日時・4月7日(日)、4月14日(日)
 会場・横浜市磯子公会堂
- ◎ 岳風会創立65周年記念全国吟道大会に於て、当会の先生が県本部として総本部より功労者表彰を受けられました。
- 指導者の部 滝の坂 上村 岳章
- 高齢者の部 堀内F 小西 勝岳 90才

初吟会についてお知らせ

企画部 内山 岳 青
 平成14年度、碩心会初吟会を左記により開催いたします。会員の皆様ご出席をお願いいたします。

記

日時・平成14年1月14日(日) 10時～16時
 会場・鎌倉「わかみや」由比浜4丁目

☎〇四六七―二五―四三二―

(国家公務員共済組合保養所)

江ノ電 和田塚下車 3分

会費・四千元

出欠の変更は1月7日まで

連絡先・内山岳青 〇四六六(33)二二二八

田中明岳 〇四六八(73)二五七六

星野輝岳 〇四六八(71)六五一七

当番支部・堀内、風早、滝の坂、諏訪



第七回 県本部年齢別大会のお知らせ

日時・5月25日(土)、26日(日)

会場・地球市民かながわプラザ

(JR本郷台駅下車)

齣 欄・65才以上(除総伝者)

課題吟・独吟と連吟

(独吟) 東風吹かば

朗26 P

花すすき

朗56 P

武蔵の野辺

朗60 P

ふるさとの山

朗70 P

酒

朗86 P

九月十三夜

一巻20 P

漫 述

一巻57 P

楓橋夜泊

一巻103 P

画眉鳥

一巻106 P

易水の送別

一巻109 P

(連吟)

天草洋に泊す

一巻66 P

述 懐

一巻68 P

胄山の歌

三巻37 P

炊煙起る

五巻43 P

出吟料・二千元

紳 姫・二月中旬

その他・昼食付

岳風会創立65周年記念

第112回全国大会開かれる

滝の坂 佐久間 岳 爽

去る11月4日(日)、東京国際フォーラムにて全国大会が開催されました。

有楽町駅に近い会場は時雨空であったが、午前8時頃には多勢が開場を待っており、碩心会から52名が参加。北海道から沖縄までの会員が入場し、五千人を収容する会場は満席となりました。

舞台には合吟のため、230名の人が一度に登壇する県もあって、国際フォーラム始まって以来、初めての大舞台ということでした。

神奈川県は2階席になっていましたが、その場所は普通のビルに例えると6階に当り、エスカレーターで何度も乗り継ぎして登りました。上から見下す舞台は、中央と両サイドの大きなモニターテレビにより視界を助けられました。舞台は一回毎に暗転しては入れ替り、その間オルゴールが流れます。

神奈川県の合吟は女性が「自訟」、男性は「神州」で見事によく揃い各自満足でした。

式典に移り、各認可団体の会旗が全部で130旗入場し、大会会長の平沢岳漱理事長は「祖

宗範木村岳風先生が昭和11年に日本詩吟学院を創立して今年65周年を迎えた。本大会を機に祖宗範の遺訓『死生命あり論ずるに足らず、只吟道をして永遠の命あらしむ』の心境に近づけるよう願いたい」と挨拶されました。

当日、注目の的は合吟コンクールで、20名一組のグループが32組出場。次々に吟力抜群のチームが現われては、二句三息のきびきびした合吟で、さすがに全国大会の貫禄でした。一位は北陸富山県本部。神奈川県本部は二位に入賞の榮譽を得ました。

構成吟の「道」は映像を取り入れ、歴史、人生の道、また吟道とプロアナウンサーの力強いナレーターにより、剣舞また現在最高の指導者である先生方の吟で、誠に迫力のある構成になっておりました。祝舞は舞楽「抜頭」で神仏へ奉納の意味を表わすという。宮内庁式部職業部による雅びの世界でした。

来年度の全国大会は加賀の金沢で、折柄NHKの大河ドラマ「利家とまつ」の舞台になる土地で兼六公園ほか見所も沢山です。北陸岳水会の榊原岳水会長が歓迎の辞を述べ、最後に金沢弁で「是非皆さん！金沢において来まっし！」と結ばれました。

葉山町文化祭に参加して

滝の坂 加藤 溪 岳

前日の冷たい雨が一变し、11月11日(日)の文化祭当日は素晴らしい快晴に恵まれた。
午前10時定刻、小菅文化協会会長の挨拶で開会する。

今年の文化祭は、詩吟、カラオケ、フラダンスと全く異色の組み合わせの発表会ということで、観客は多岐にわたって多く、舞台は華やかに展開していった。

まず詩吟からはじまり、続いてカラオケ、フラダンスと次々に日頃の成果が発表された。詩吟は従来どおり電光板による進行に対し、カラオケは司会者の独壇場。更にフラダンスの明るさと、それぞれの特徴がでて見る人も飽きなかったのではないだろうか。

全体に進行の時間がオーバーしたため、午後のプログラムが駆け足になってしまい、最後の先生方の吟をじっくり聞きたかったのに、先生方は全員で「神州」の合吟で締めくくったのは残念だった。

最後は加藤岳尚先生正の閉会の挨拶で無事終了した。

第51回逗子市詩吟詩舞大会に参加して

悠吟支部 中村 紫 風

各地の紅葉便りのなか、逗子市文化祭の環境として11月18日表記大会が開催されました。9時30分修礼、小林副委員長の開会の辞、岡田先生先導による「富士山」大合吟と続き、午前中は詩吟第一部の方々が熱演。

立休吟では素晴らしい吟、季節の生花、女流書家の書を楽しませていただきました。

昼食後、千葉委員長挨拶のなかで吟題の変更が多かったとのご指摘がありました。

午後からも順調に会は進み、各流派の方々が力演。なかでも子供さん方の伴吟、詩舞ではひととき会場の方々を感嘆させ、拍手喝采でした。吉岡副委員長の閉会の辞をもって4時少々過ぎに終了しました。

来年は40周年記念大会とのことです。また皆さん各教場にて研鑽されることでしょう。

何時も発表会では堂々と立派に吟じられたり、舞われる方に感服させられます。自分の稽古不足と、出場に消極的な態度を棚上げ羨望と劣等感を味わったりもいたします。せっかく吟や舞で心みがきを教えていただき

きながら吟道精神が身に付かぬ私です。容姿や体力の衰えは人の常。せめて心美人かと思いつつ、これが一番難関です。

先輩の「発表会では度胸を勉強させていただく」との言葉を改めて反芻する大会後の心境です。当大会の関係者の方々大変ありがとうございました。

鎌倉市詩吟詩舞連盟大会を終りて

大船 岩崎 岳 恵

小春日和に恵まれた11月25日、大船のレイウェル鎌倉に於て、第16回の詩吟詩舞大会が催されました。この日の為にと努力の甲斐あって、好評裡に午前の部を無事に終了しました。昼食の後ほどの会も愈々熱がこもり、会によっては多少吟調の異なる吟もありました。それぞれの吟じ方でアクセントにも注意して仲々良いと思えました。

佳香会、紫舟会の演目も良く、吟者も流石にベテラン揃いで舞台に目を奪われました。隣席の高齢の方から「吟を覚えてもすぐ忘れるので教本を見て吟じようかと迷っています」と相談されましたので「無理しないで本を見てやられた方が良いでしょう」とアドバイス

しましたら、とても良い吟ができたので安心しました。

千葉岳関会長の力強い立派な吟を聞かせて戴き本当に嬉しく、私達ももっと勉強して次の回に備えようと思いました。

当日の役員の方々ありがとうございました。

沖繩吟行会に参加して

矢島 岳悦

11月26日の朝、神奈川県本部沖繩旅行のため、一人暮らしの私は新聞を一週間止めて出かけた。帰宅後久しぶりに新聞を広げて朝日歌壇を読んだとき、特選の歌が〈空爆のニュース日すがら流れて、むせび泣くなり沖繩の母〉とあった。この歌に県の吟行会から帰ったばかりの私は一瞬息をのんだ。

吟友仲間の旅行は飛行機の中を始め観光パスの中、またホテルに於ても楽しい三日間でした。ショーあり、宴会あり、心憎いほどのガイドの名調子。獅子座流星群の空を見たり同行の皆さんには大感謝です。

沖繩は今も戦争の跡がまざまざと残り、かつての戦争には同年令であつたらう「ひめゆりの塔」の乙女達が北へ逃げ、南へ追われ断

崖より海へ飛び込んだ人々、如何に沖繩の方々が苦しんだか心をとらえます。

美しく、暖かく、青く、素晴らしい南国の島、反面、大きな声、笑い声をあまり聞かない寂しい島が印象に残りました。

沖繩旅行は忘れていた数々のことを思い出させてくれました。

思つたままを詠む：

沖繩で 戦死す夫の墓詣で

一束の花 抱え走りぬ

(吟友高橋悦岳先生を詠む)

涙ぐみ 肩を落とした吟友の

吟声とどけ ひめゆりの乙女

(吟友栗原岳詳先生を詠む)

次回沖繩へ旅行する折があれば、水着でなにと明るいビーチを夢見ております。

俳句

逗子B 磯村 岳朋

冬の日目は目覚まし鳴ってあと五分

山茶花に導かれつつ角曲がる

堀内E 西岡 清岳

秋深しはらはら散りて黄の絨毯

葉山路は黄金の銀杏朱の紅葉

入会 (11月1日付)

376 後藤美和子 鎌倉市浄明寺五十一五

(逗子B) ☎〇四六七一二四一〇七〇

(紹介者 新井国風)

377 今井 俊夫 三浦郡葉山町上山口七九三

(下山口) ☎〇四六八七八一七八二八

(再入会) (紹介者 山口重男)

退会 (11月1日付)

300 河田 薫泉 (戸塚支部)

入会 (12月1日付)

378 矢野 茂子 逗子市逗子二一八一七

(真澄) ☎〇四六八七一六六〇六

退会 (12月1日付)

151 前野 玲岳 (悠吟) 318 遠藤 裕子 (唐木山)

編集後記

新世紀は早くも一年が終ります。暗いことの多い世の中、12月1日皇孫殿下内親王様ご誕生の明るいニュース。来年は良い年になりますように。

師走の逗子地区温習会が終れば初吟会。息抜く暇もなく65周年記念大会に向っての準備。千葉会長は、会員の各自が誇りをもって、

大会の遂行に尽力されることを希望しています。全員の力を合わせて成功させましょう。